

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1163418
園名	学校法人沖永学園 帝京めぐみ幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

そだてて、みつけて、いただきます

<テーマの設定理由>

園内の畑の雑草取りをし、この畑で何か育ててみたいと興味を持った。各学年で育てる野菜を決め、雑草取り・水やり・育て、食したいことにも関心を示したため、このテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

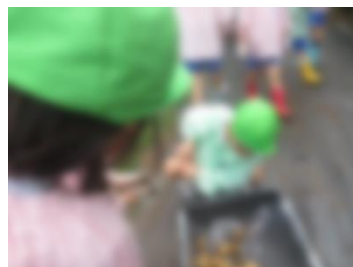
	実施学年	育てるやさい	内容
2025年4月	年長	畑の準備 年中時に植えたジャガイモ	雑草取り・引き続き観察・水やり
	年中	畑の準備 小松菜	雑草取り・苗を植え、水やり・生長の観察
	年少	畑の準備	
2025年5月	年長	ジャガイモ・とうもろこし	雑草取り・引き続き観察・水やり
	年中	小松菜	雑草取り・水やり・生長の観察
	年少		
2025年6月	年長	ジャガイモ・とうもろこし	雑草取り・観察・水やり
	年中	小松菜	雑草取り・水やり・収穫し食べた。
	年少		
2025年7月	年長	ジャガイモ・とうもろこし	収穫し、ジャガイモを洗い、食材として食べた。(カレー)
	年中		年長児が収穫をしたジャガイモを食材として食べた。(カレー)
	年少		
2025年10月	年長	白菜	雑草取り・苗を植え、水やり・生長の観察
	年中	スナップえんどう	雑草取り・苗を植え、水やり・生長の観察
	年少	ブロッコリー	雑草取り・苗を植え、水やり・生長の観察
2025年11月	年長	白菜	雑草取り・生長の観察・水やり

	年中	スナップえんどう	雑草取り・生長の観察・水やり
	年少	ブロッコリー	雑草取り・生長の観察・水やり
2025年12月	年長	白菜	雑草取り・生長の観察・水やり
	年中	スナップえんどう	雑草取り・生長の観察・収穫できず
	年少	ブロッコリー	雑草取り・生長の観察・水やり
2026年1月	年長	白菜	雑草取り・生長の観察・水やり
	年中		
	年少	ブロッコリー	雑草取り・生長の観察・水やり
2026年2月	年長	白菜	雑草取り・生長の観察・水やり
	年中	ジャガイモ	種芋を植える
	年少	ブロッコリー	雑草取り・生長の観察(まだ小さい)・水やり
2026年3月	年長	白菜	雑草取り・生長の観察・水やり
	年中	ジャガイモ	雑草取り・生長の観察・水やり
	年少	ブロッコリー	雑草取り・生長を確認し収穫・食べる

3. 探究活動の実践

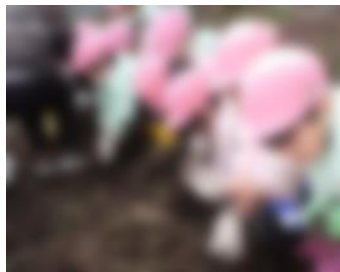
5歳児クラス

- ・年中時(2月)に種イモを植え、育てたジャガイモを収穫し、土を洗い流しカレーを作って食した。
- ・白菜を10月に植え、雑草取り・水やりをしながら生長観察を楽しんだ。段々と自分たちが知っている白菜の实がなってきたことに驚き、野菜の育ちを友だち同士話したり、それぞれの発見を伝えあったりした。白菜の形ができ始めると、自ら畑に行ってみたいと保育者に伝えてくる子が増えてきた。
- ・葉が広がり始めてきたのを見て収穫を楽しみにし、保育者と一緒にスコップを使って収穫をした。
- ・塩もみにし、食した。苦手な園児も食べていた。
- ・5月にとうもろこしを植えたのだが、生長観察は出来たが、夏休みに入ってしまった、収穫することは出来なかった。



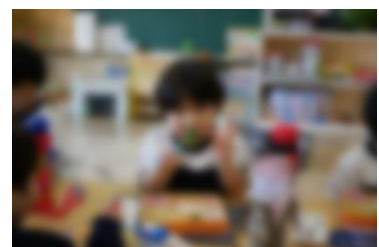
4 歳児クラス

- 4月に小松菜の苗を植え、水やり、雑草取りを行った。葉がぐんぐん伸びることを楽しみにし、収穫が近づくと、どのように調理をし、食すかを子どもたち同士、話している姿が見られるようになった。緑葉食野菜のため、苦手意識を持っていた子もいたが、育てた達成感もあり、挑戦する姿も見られた。
- スナップえんどうでは、定期的に水やりもしていたが、土が固く、日当たりの関係もあったようで、上手く収穫につなげることができなかった。
- 種芋のジャガイモを植え、生長を楽しみながら観察している。



3 歳児クラス

- 10月 ブロッコリーの苗を植えながら、葉の感触を味わったり、においを嗅いでみたりしながら観察しながら畑に植えた。観察しながら葉が大きくなるのを楽しみ、ブロッコリーは、どこから生えてくるのかを観察した。葉は大きくなっているが、ブロッコリーを見つけることは出来ずに、冬休みを迎える。1月ようやく小さな実を発見した。実がなっていたことから自ら畑に行きたいと自主的に発言するようになってきた。2月、まだ収穫できる大きさにはなっておらず、3月、収穫時期がきて、大きくなったブロッコリーを収穫した。急成長に驚いていた。塩ゆでをし、食した。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- 園舎から通りを挟んでの畑のため、移動時間に時間をとってしまうこともあり、改めて畑での栽培の難しさを感じた。各学年職員同士の連携・話し合いを積み重ねることで、もっと活動幅が広がったのではないかと思った。
- 畑での作業は、土の感触を含め、普段では味わえない自然とのふれあいもできることで生長観察を楽しみにしている子が徐々に増え、畑への興味関心にも繋がったのではないかと思う。虫を嫌がっていた園児も足を運ぶことで、触れることは出来ないが、観察することもできるようになった。
- 生長を楽しみ、収穫し食すことで、共同作業の大切さ・食への興味も学べたのではないかと思う。
- 収穫できずに終わってしまった、スナップえんどうは、植える前の畑の状態を考えずに植えてしまった。しかし、収穫できなかったことで、4歳児の園児たちでの話し合いでは、「水のあげすぎ」「太陽にあたっていなかった」との意見もでて、野菜を育てるには、環境を整えていくことが大切なのだと知ることができた。
- とうもろこしの収穫時期のタイミングが合わず、園児も楽しみにしていたが、今後、天候にも配慮しながら植え時期も考えていこうと思う。
- 今後、畑に関わらず、園児たちが、自ら考えていくためには、保育者がどのようなサポートが必要なのか、その都度、話し合っていき、園児たちの環境設定を整えていこうと思う。